様式３(2020.08改)

作成日 令和3年10月26日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000670
事業所名	グループホームつばさ吉原

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	地域貢献を活動の軸として考え、開設から現在まで、地域ニーズを知るためにも、まずはホームを覚えてもらう活動に取り組んでいる。日課の散歩が功を奏し、「挨拶からはじまるお付き合い」の実現がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ禍でも、感染対策を講じた上で、対面の会議を開催している。老人会や区長・地域包括支援センターの参加で地域情報が得られ、ホームの情報発信も行えている。地域に根差した運営を目指し、様々な意見や提案を聞き取っている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	地域包括センター主催の認知症サポーター養成講座の講師受託等で協働を図っている。また、地域包括支援センターが間に入り、小学校へボランティアに入る計画を進めている。地域包括支援センターはホームの活動に協力的であり、今後も連携が期待できる。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	面会時等の来訪時に直接意見や提案を聞き取っている。開設時から、家族等は協力的で、忌憚のない意見交換ができている。特に開設からの体制立ち上げ時には、家族からの様々な意見を参考に、仕組みづくりを行っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

感染対策を講じ、対面での会議開催を継続している。

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１ 自己評価及び外部評価」及び「２ 目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１ 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ① 運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ① 家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	－	○									